


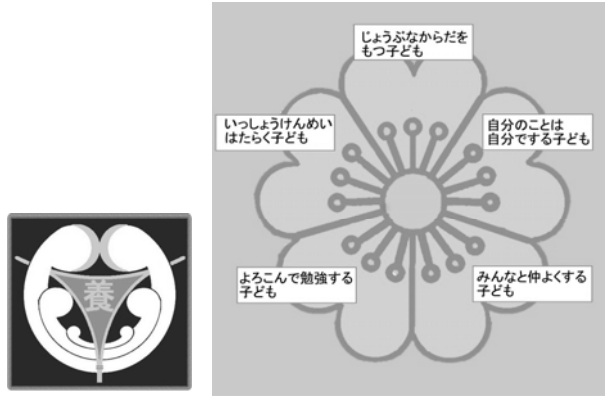
平成21年度 国立特別支援教育総合研究所セミナー I  
 第2分科会「特別支援教育におけるキャリア教育の意義と展望」  
 ～キャリア教育の視点による教育課程及び授業の充実を目指して～  
 <話題提供2>  
**特別支援学校(知的障害)における  
 キャリア教育の視点による教育課程改善の試み**



宮城県立気仙沼支援学校  
 今野 和則

# 1 気仙沼支援学校の特色など

(1) 学校教育目標(5弁の花びら)は  
 生きる力の育成




じょうぶなからだをもつ子ども  
 いっしょうけんめいはたらく子ども  
 よろこんで勉強する子ども  
 自分のことは自分でする子ども  
 みんなと仲よくする子ども

# 1 気仙沼支援学校の特色など

(2) 教育課程のベースが自主公開研究会  
 (平成15年度創立20周年時)

①研究テーマ「児童生徒の生きる力をはぐむための指導の在り方を求めて」  
 ②実践内容  
 ア 児童生徒の生きる力の実態把握  
 イ 指導内容表、  
 題材別年間  
 指導計画  
 の作成



# 1 気仙沼支援学校の特色など

## ア 児童生徒の生きる力の実態把握

小学部	身辺自立	人のかかわり	気づき・理解する			健康の保持	
中学部	基本的生活習慣	伝達とかかわり	判断・対処	働く態度と意欲	健康の保持増進		
高等部	身の回りの自立	共に学ぶ	意思交換	思考・判断・決定	知識・技能	行動	やる気の持続
重複班	生活に必要な動き	好きなことを楽しむ	自発的に伝える	人や物を意識する		生活リズム	

## 1 気仙沼支援学校の特色など

## イ 指導内容表, 題材別年間指導計画

1日常生活の指導	3区分14段階	8図画工作・美術	6項目4段階
2遊びの指導	4項目3段階	9体育・保健体育	6区分8段階
3生活単元学習	10項目6段階	10家庭	4区分8段階
4作業学習	6区分8段階	11道徳	4区分4段階
5国語	3区分8段階	12特別活動	2区分8段階
6算数・数学	7区分8段階	13自立活動	5区分8段階
7音楽	4区分4段階	14総合的な学習の時間	6区分2段階

## 1 気仙沼支援学校の特色など

## (3) その他

- ① 地域の特性と伝統を重んじる風土
- ② ベテランで熱心な教職員
- ③ 新しい考え方にはやや抵抗あり

※木を見ながら森を見る。明日を見ながら将来も見る。

## 2 学校運営にあたって

## (1) 学校教育目標の再検討

「地域の中で家庭とともに、子どもの能力を尊重し、効果的なコミュニケーションにより、そのかけがえのない値打ちを伝えていくことで、内在する豊かな力を開く自立をめざす。」という目標を掲げ、「五弁の花」は目指す児童生徒像としたい。

## 2 学校運営にあたって

## (2) 児童生徒の実態の変化によるアセスメントと手立ての重要性

- ① 障害の重複化と多様化  
重複障害児への対応について、他の特別支援学校や地域の保健福祉事務所等との連携
- ② 自閉症児の増加  
県の専門家チーム委員の臨床心理士等と連携

## 2 学校運営にあたって

## (3) 年間指導計画の見直しの時期

- ① 新学習指導要領を踏まえて
- ② 特別支援学校のセンター的機能の充実
- ③ 平成26年度の創立30周年記念事業  
(自主公開研究会)に向けて

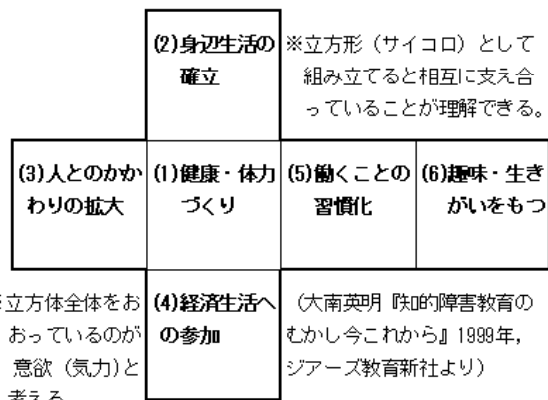
## 3 研究協力の受諾の背景

(1) 知的障害教育における「生きる力」は  
キャリアの視点と重なる

- ① 健康・体力づくり
- ② 身近生活の確立
- ③ 人とのかかわりの拡大
- ④ 経済生活への参加
- ⑤ 働くことの習慣化
- ⑥ 趣味・生きがいをもつ

## 3 研究協力の受諾の背景

## ① 生きる力を育てる六つの観点



## 3 研究協力の受諾の背景

生きる力の観点	教育目標
① 健康・体力づくり	① じょうぶなからだをもつ子ども
② 身近生活の確立	② 自分のことは自分でする子ども
③ 人とのかかわりの拡大	③ みんなと仲よくする子ども
④ 経済生活への参加	④ よろこんで勉強する子ども
⑤ 働くことの習慣化	⑤ いっしょうけんめいはたらく子ども
⑥ 趣味・生きがいをもつ	※校歌には歌われている。

## 3 研究協力の受諾の背景

生きる力の観点	教育目標	キャリア諸能力
① 健康・体力づくり	①じょうぶなからだをもつ子ども	将来設計能力 (習慣形成)
② 身辺生活の確立	②自分のことは自分でする子ども	人間関係形成能力 (挨拶、生活、身だしなみ等)
③ 人とかかわりの拡大	③みんなと仲よくする子ども	人間関係形成能力
④ 経済生活への参加	④よろこんで勉強する子ども	情報活用能力
⑤ 働くことの習慣化	⑤いっしょうけんめいはたらく子ども	情報活用能力 意思決定能力
⑥ 趣味・生きがいをもつ	※校歌には歌われている。	将来設計能力

## 3 研究協力の受諾の背景

## (2) 本校の教育体制全体を見つめ直すツールとしての活用

平成16年時、生きる力の実態把握及び指導内容表により、題材別年間指導計画を作成したが、生きる力を育てる観点の網羅についてはチェックしていない。

## 4 研究協力への取組

## (1) キャリアの視点による題材別年間指導計画の洗い出し

- ① 本校の教育課程を改めて生きる力の観点で分析
  - ② キャリアの発達と生きる力の重なり具合を分析
- 教育課程と知的障害のある児童生徒の「キャリア発達段階・内容表(試案)との関連について

## 教育課程と知的障害のある児童生徒の「キャリア発達段階・内容表(試案)との関連について(深く関連2p, 関連1p)

キャリアの発達段階	小学部	中学部	高等部	総計
人間関係形成能力	164	159	350	673
情報活用能力	41	58	105	204
将来設計能力	12	123	236	371
意志決定能力	54	73	164	291
合計	271	413	855	1539

## 4 研究協力への取組

## (2) 個別の教育支援計画につながる「本人の「願い」を支えるシート」の使用

本校の新たな学校教育目標の設定及び個別の教育支援計画の改編に向けての有益な作業

- ・本人の願いをとらえることの難しさ
- ・願いを引き出すワークの大切さ
- ・将来を見据え、方策や手だてを考慮することや保護者等との連携意識に有効

## 4 研究協力への取組

## (3) 授業における目標分析と共有化

- ①T-T間の意思疎通及び連携した授業づくりの方法として有効
- ②指導主事学校訪問等における授業提供により外部への情報発信
- ③授業における目標設定、個別の指導計画にかかる目標設定をキャリアの視点(生きる力の観点)で一本化できないか。

## 5 今後の取組への展望

- (1)学校教育目標の更新
- (2)平成26年度に向けた教育課程の更新
- (3)個別の教育支援計画及び個別の指導計画の内容について再吟味
- (4)特別支援学校のセンター的機能の充実に向けて
- (5)ハンドブック作成協力(特別支援教育センター作成の授業作りの手引きと連動)

## 5 今後の取組への展望

## ○学校教育目標の更新

- ・地域社会の中で家族と共に子どもの力を尊重し、自己がいかに大切で、かけがえのない存在であるか伝えながら、その夢と願いを育て、心豊かに生きることでの自立と社会参加を実現する。